

要請番号 (JL02426A34)



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ラオス	D235 自動車整備	20~45歳のみ	個別	新規	2年	・2026/3・2027/1・2027/2

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

教育スポーツ省

2) 配属機関名 (日本語)

ボリカムサイ技術専門学校

3) 任地 (ボリカムサイ県パクサン郡) JICA事務所の所在地 (首都ビエンチャン)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで約3.0時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

ラオスでは教育スポーツ省管轄下で全国に技術訓練校・短大が配置されている。配属先はボリカムサイ県の中心地から北に約12kmに位置する技術専門学校で、現在は9つの学科(自動車整備、電気電子機器、土木など)を有し、教職員59名、生徒530名が在籍している。同校では約2カ月おきに座学と、地元企業でのOJTプログラムを交互に実施するなど、現場実践に即したカリキュラムを提供している。卒業生は地元の整備工場などに就職するケースが多い。海外からの支援では2014年頃にドイツ人ボランティアの受入実績がある。JICAボランティアの受け入れは初。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

教育スポーツ省管轄のもと、教育機関と地元企業が協働して産業人材を育成するDual Cooperative Training(DCT)が推進されており、配属先でもより質の高い技術者の育成、及び地域の労働市場への供給が求められている。ラオス国内における自動車や自動二輪台数は年々増加しており、加えてボリカムサイ県は公共交通機関の整備が未発達であるため、市民の移動には自家用車やオートバイが欠かせない。そのため、自動車整備士等の人材の育成は、地域産業への貢献に資するものである。自動車整備科ではレベル別のクラス運営が行われているが、学生数が多く、教員は丁寧な指導やフォローアップができていないため、学科運営サポートや、実技に関する知識・技術の共有が期待されている。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 自動車整備(自動車、オートバイなど)に関して、配属科の教員の技術および知識レベルを分析し、講義や実習等を計画・実施する。
- 教員に対するワークショップや勉強会などを企画、実施する。
- 同僚らと協働して、自動車整備科の学生に対して座学・実技の両面から指導を行う。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

実習車、エンジンシミュレータ、イグニッションシステムシミュレータ、電気系統等システムシミュレータ、パワーステアリングテストシステム、リフト、タイヤチェンジャーなど

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:
学長ほか教職員59名

活動対象者:

教員6名(30-40代)、学生約100名

5) 活動使用言語

ラオ語

6) 生活使用言語

ラオ語

7) 選考指定言語

英語(レベル:C)

【資格条件等】

[免許/資格等]：(2級ガソリン・ジーゼル自動車整備士以上が必須) [学歴]：(専門学校卒) 備考：配属先の要望による

[性別]：(男性) 備考：配属先の要望による

[経験]：(実務経験) 2年以上 備考：配属先の要望による

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(熱帯モンスーン気候) 気温：(15~40°C位) [電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水源]：(安定)

【特記事項】

【類似職種】